



前 広島市議会議員
母谷たつのり

重風

謹啓

皆様にはご健勝にてお過ごしのこととご推察いたします。

『光陰人を待たず』とは正にこのことで、つい先日、新年を迎えたと思っていたのに早や半年以上が過ぎ去ってしまいました。

今では、爽やかな初夏の風が吹き始めた5月初旬が嘘のように、その後の時期はずれな暑さ、梅雨明け直前には西日本は大雨、東日本は猛暑日というなか九州北部を豪雨が襲い甚大な被害をもたらしました。特に7月5日未明からの降水量は1時間当たり、24時間合計でも記録的な豪雨災害となり、福岡、大分両県を跨いで中山間地を中心に壊滅的な被害が拡大しました。これは、2014年8月に安佐北区、安佐南区で発生した広島災害と同様に線状降水帯と呼ばれる積乱雲が連続して次々と発生する中での現象が原因で降水量が増幅しました。

被災された皆様には、一日も早い復興をお祈りするとともにお見舞いを申し上げたいと思います。

さて、松井市政1期目では重要課題であった「安佐市民病院の移転」について、病院機能の充実強化と可部の街づくりを主眼とした病院事業の中期経営計画の見直しを発表したところ、市議会を二分する大論争となつたことがあったのですが、一部修正をして決着しました。

また、一度廃線を決定したJR可部線を3月に日本で初めて復活・延伸させたことや広島の玄関口と言われる北側の若草町、二葉の里地区再開発や南側のB、Cブロックの完成を成し遂げ、広島市における長年にわたる最大かつ最重要であった懸案事項を解消しました。

5月末には広島駅南北自由通路が一部開通し、10月には全面開通します。他の大都市同様に利便性が増し更なる発展が期待されています。

皆様のご理解、ご協力を得てこそできる街づくりを佐伯区でも進めていきたいものですね。

謹白



新年度予算

広島市議会では、2月13日から3月22日までの38日の日程で平成29年第1回定例会が開かれ、予算特別委員会の審議を経て6456億円余りの新年度一般会計予算案など23件の予算案、18件の条例改正案をはじめとする62議案を原案通り可決しました。

中でも新規事業として計上された『高齢者いきいき活動ポイント事業』は、従来の『高齢者公共交通機関利用助成制度』を「地域ボランティア活動への参加や介護予防・健康増進に関する活動への参加を促す」とのねらいでポイント制を取り入れた助成制度に変更されています。9月1日から実施し、70歳以上が対象となります。

実施段階に当たっては地域と各種団体との連携は欠かすことの出来ない要件であり、市民の行政参加という

側面も併せて意欲と向上心がモチベーションにつながる期待もありそうです。健康で元気が一番ですね。

【事業概要】

	改正前	改正後
A. 高齢者公共交通機関利用助成	6000円	→ 3000円
B. 対象活動ポイント 70点		1ポイント100円換算

地域での支え手になるもの 4ポイント/回
健康診査、がん検診の受診 2ポイント/回
自ら介護予防に取り組むもの 1ポイント/回

※ A、B合わせて一人10,000円を限度額とする。

※ 但し、高齢者公共交通利用助成のみを引き続き希望する場合は7,000円

あなたの声を聞かせてください。いい汗流そう! いい笑顔つくろう!
母谷たつのり ホットライン

私が直接
ご返事します

ご意見
ご要望は

TEL.929-9002 info@motani.jp

6月定例会

6月定例会は、6月20日から30日までの11日間の予定で開催され、補正予算案(1億1千8百万円)1件、条例案5件、その他の議案6件、専決処分案2件の合計14件が上程され、常任委員会審査を経て原案どおり最終日に議決されました。

また、最終日には、6常任委員会や3特別委員会など議員の新たな配属先が決められました。

平和学習

例年、8月6日は広島市の小学校、中学校では平和学習のため登校日に設定されていましたが、今年は様子が変わりそうです。

今年度から広島市教職員の人事権限が県教委から一括で市教委へ移行されたため、8月6日を条例で市職員の休日に定めている広島市では教職員に対して休日勤務を原則として命じることができないためです。このため、今年は市内全小・中学校206校のうち、125校で8月4日を登校日に設定しましたが、夏休み期間以外に平和学習を行うところも少なくないようです。

この問題は、6月定例会でも取り上げられ広島市教育委員会の対応が質されました。本年度は各校の判断で登校日を定めました。

今年は権限移行後初年度で、その対応にバラツキがあるようですが今後、振替休日の設定等で従来通り8月6日の原爆の日が登校日にできるかどうか運用面について広島市教育委員会が文部科学省などとの検討を進めています。

放課後児童クラブ

昨今の待機児童解消を図るため放課後児童クラブの増設等を行う補正予算が6月定例会で可決されました。

●放課後児童クラブの増設

戸坂、三篠、己斐、川内、中筋、毘沙門、長東西、伴南、口田、三入、可部南、美鈴が丘での12校12学区で費用6781万円を充て、小学校の空き教室等を利用してクラスを開設します。

●民間事業者による放課後児童クラブ

また、5学区5校では比治山、南観音、草津、井口、春日野で民間放課後児童クラブの運営を行う民間事業者に対して5019万円余りを補助する補正予算案が可決されました。

今日深刻な待機児童の問題であり、双方ともまだまだ十分とは言えない事業ですが解消の一助につながると期待しています。

6.29追悼集会

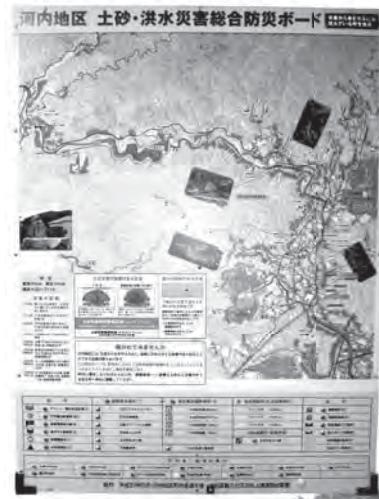
佐伯区河内地区では、平成11年6月29日に発生したいわゆる「6.29災害」の教訓を衰退させてはならないと被害の大きかった河内地区自主防災会連合会(杉田精司会長)が毎年行っているもので今回が19回目の開催となりました。

この地区では、10名の尊い命が奪われ、家屋の全壊61棟、田畠の流失など甚大な被害を被りました。5年前には、大災害を忘れないと石碑を建立し、今年は災害記憶と防災意識を高めようと河内地区の地形、自分の住んでいる場所、防災設備、避難場所などおよそ180個のLEDランプを使った「土砂・洪水被害総合防災ボード」を作成し、学校を含めた地域の学習教材として活用する方針です。

第2部では広島工業大学と広島市危機管理室から2人を招いて防災講演を行って閉式となりました。

この地域では、度重なる被害を被ってきた歴史があります。こうした災害の記憶が忘れ去られないよう、防災意識を高め、命を守ることに活用してもうおうと作製されました。

過去の災害を教訓に被害を最小限に食い止めたいとの思いが込められているようです。



母谷たつのり事務所

TEL.929-9002
FAX.927-7080

〒731-5114 広島市佐伯区美鈴が丘西5丁目17番12号

ともに進む希望あふれる未来。



もたにたつのり

検索

<http://www.motani.jp>